

第24回ふくしま駅伝 田村市チーム 5時間24分14秒完走



20回連続出場で表彰も受けた吉田浩一主将

県庁の正面玄関に掲示された順位表



スタート直後の1区、先頭集団



内側(写真右)からスタートの田村市チーム

田村市で初の大役

吉田浩一主将 開会式で力強く選手宣誓



第24回市町村対抗県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)の開会式が大会前日の11月17日、白河市中央体育館で開かれ、1番くじを引いた田村市チームから吉田浩一主将が選手宣誓を行いました。吉田主将は「新生福島のため、今まさに歩みを続ける福島県民の皆さまに、勇気と感動、復興に懸ける活力を与えられるよう、晩秋の福島路で最後まで諦めることなくタスキをつなぎます」と力強く宣誓しました。田村市チームが選手宣誓するのは、町村合併後、今回が初になります。

大会は51チーム、809選手が出場。田村市チームは、1区の橋本愛里選手が5位でタスキをつなぎ好スタートを切りました。その後、中・高校生の選手が粘りの走りを見せ、上位チームに食らい付く展開。終盤、各チームとも力のある選手を投入し接戦が繰り広げられ、田村市は総合、市の部とも8位と健闘しました。中・高校生主体の若い力での力走に、来年以降、更なる飛躍が期待されます。



大会終了後の夕方、ウエディングプラザ丸美で行われた解散式



多くのかたが沿道で旗をもって応援

震災復興

■市内16小学校
田村っ子の元気を支援する事業



緑小学校

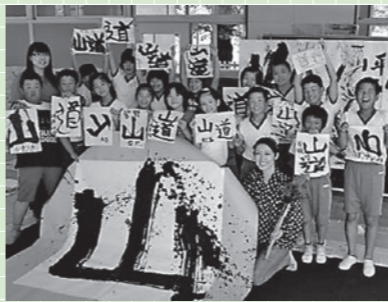
10月25日に「朗読鑑賞会」を行いました。ヴォイス・プロの先生を招いて、教科書のお話を朗読していただきました。子どもたちはプロのかたの朗読を聴き、物語の情景や人物の心情を感じ、イメージを広げることができました。

また、朗読する時のアドバイスをいただくこともでき、有意義な体験ができました。



本年度、船引南小学校は統合5周年です。旧堀越小、門沢小、柗山小を知るのは6年生だけになりました。そこで、6年生は家族や地域の人々の当時の統合による思いや学校の歴史を伝えるために、富塚市長をはじめ地域のかたにICレコーダーを使ってインタビューを行い、その内容を学習発表会で発表しました。さらに5周年記念誌にまとめます。

船引南小学校



瀬川小学校

9月13日、今年も3～6年生は新潟県加茂市にお住まいの書家(墨遊はちまき屋代表)泉田佑子先生を講師に招いて、「書」の芸術体験学習を行いました。

先生の優しい中にも情熱的な指導に子どもたちは引き込まれ、一人一人が課題に集中して取り組み、瀬川っ子が「書道家」になった一日でした。



1～3年生は、日立市かみね動物公園でモルモットに直接触れたり、大きな象の体に驚いたりなどの体験をしました。また、4～6年生は、「ブリティッシュシルズ」で、昔のイギリスの貴族の生活に触れたり、洋食のテーブルマナーを学習したりと、異文化を肌で感じ取ってきました。児童にとっては、本物にふれた大変貴重な体験になりました。

船引小学校



要田小学校

田村っ子の元気を支援する事業では、1～3年生は「大洗水族館」でイルカのショーに感激し、4・5年生は、新幹線に乗って「仙台市科学館」と「博物館」を見学し、自然科学に関心を寄せていました。

また、6年生は「東京上野公園」で都会の気分を満喫しました。どの体験も児童にとっては、心に強く残る貴重な体験学習になりました。



「美山っ子」の元気をアップさせるため、子ども科学館と美術館で学ぼう」「思い切り泳ぐぞ体験」体験型親子音楽鑑賞教室を行いました。

「仙台木管五重奏団」音楽体験教室では4～6年生のリコーダー演奏と共演したり、楽器の音当てクイズに興じたり、全校児童と地域のかたがたが歌う校歌の伴奏をしていただいたりして、音楽の美しさや楽しさを十分に堪能しました。

美山小学校